

A photograph of two young children, likely in a classroom, looking intently at a tablet computer. The child on the right is holding the tablet, which has a blue protective case. The child on the left is leaning in, looking at the screen. The background shows a typical classroom setting with shelves and a desk. The text is overlaid on the image in white, with a semi-transparent dark blue background at the bottom.

淡路市が目指す 学びのイノベーション

～タブレット端末の導入と授業実践～

淡路市について



淡路市について

人口約43,600人

	小学校	中学校
学校数	11 校	5 校
児童生徒数	2,027 人	967人

3つの主要施策

～いつかきっと帰りたいくなる街づくり～

教育

観光

企業誘致

タブレット 活用教育

タブレットを使った授業で、生徒の皆さんは
こんなふうに感じています

前に出での発表が
しやすくなった。

いちばんおもしろいと感じた
科目は、美術、英語、国語、総合、
社会、算数……他にもいろいろ。
一つに絞り込めない。自分で詳
しく調べたり、プレゼンテー
ションを作ったり。どの科目で
も、新しい発見があるから。

興味を持ったことが
すぐに調べられるので
やる気が出る。

体育で動画を撮って
自分のフォームを確認
できるのが便利。

タブレットを使った授業で、先生たちは
こんなふうに感じています

あわちから
育む

タブレットというツ
ールを使って、もっと何が
調べたい、詳しく知りた
いという好奇心が高
まったように感じた。

生徒が積極的に
授業に参加し、生徒同士で
相談する機会が
増えた。

表現の仕方に工
夫ができることを
知り、自分の思いを
表現する楽しさも
感じている生徒
は増えた。

未来を担う子どもたちへ

幸せになるために生まれてきた大切な子どもたち一人一人が育ち、よい人生を送るためには、家族が安心して抱くことができる環境を整えることが大切です。

浜路市では子育て支援、幼児教育に力を入れています。また土登浜第1特色ある教育の園地（幼稚園）として、中学校にタブレット活用

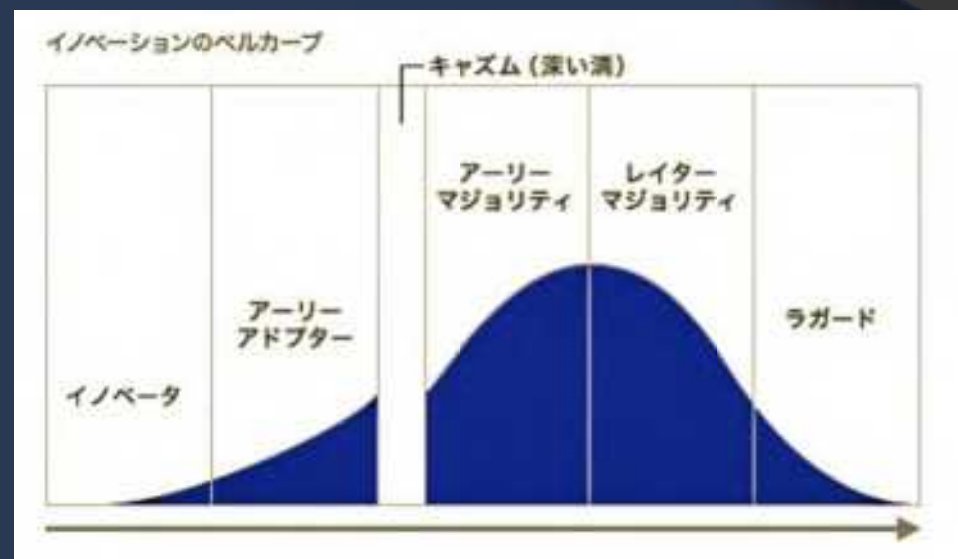
特色のある教育の充実

H24～フロンティアプロジェクト

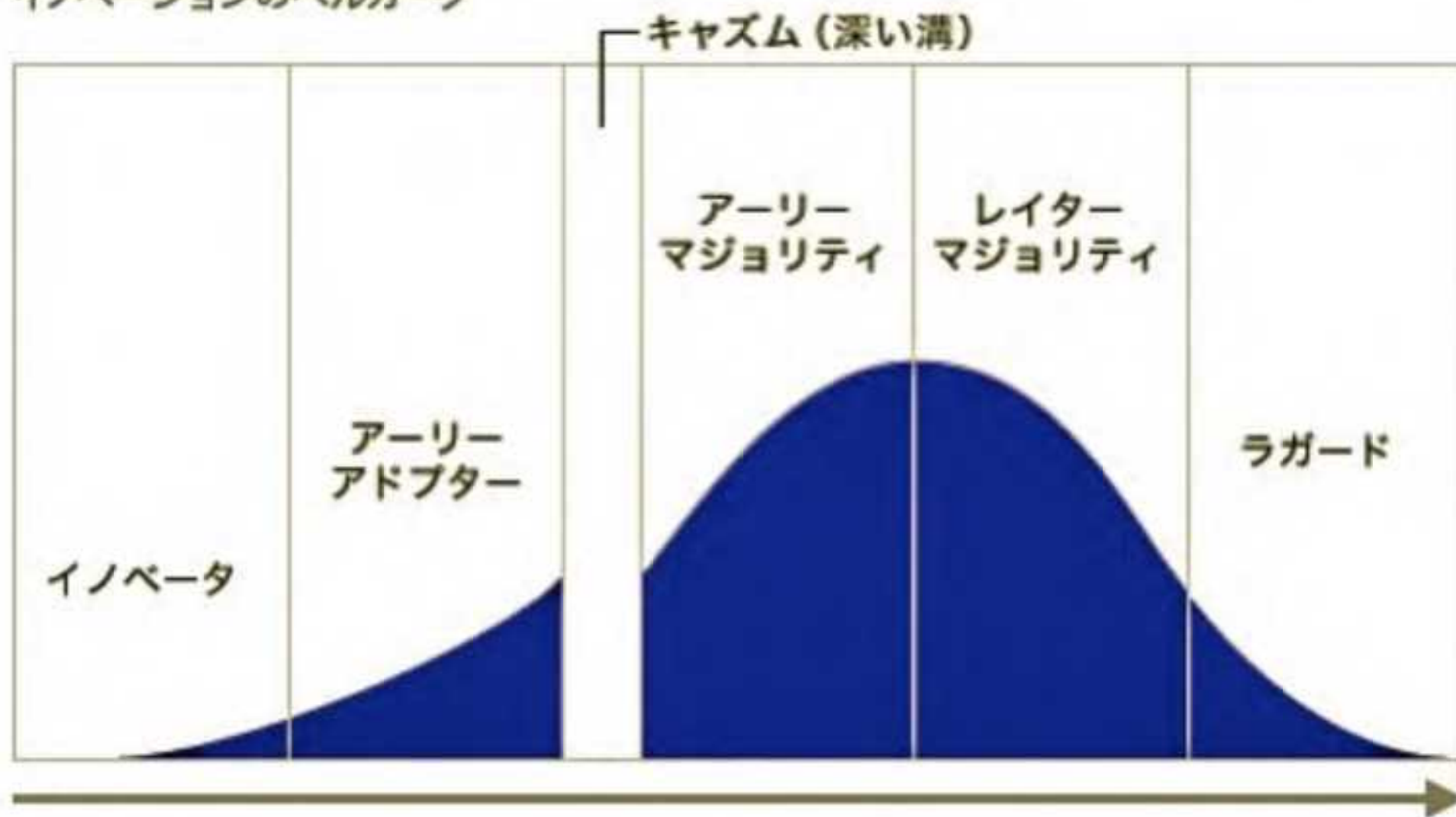
H26～タブレット活用教育推進事業

H31～学びイノベーション事業

淡路市の取り組み



イノベーションのベルカーブ



H24

フロンティアプロジェクト

21世紀に相応しい学びと学校の創造



iPadのバラマキに終わらせない

フロンティアプロジェクトの特徴

- ① 「学校」ではなく「先生」にiPadを託した
- ② 「お隣の先生」から広がるICT活用

“整備事業”ではなく
授業改善を目的とした”教員研修事業“として

研修員に貸与されるICT機器一式



H24 — フロンティアプロジェクト



H26

タブレット活用教育推進事業

フロンティアプロジェクトの

発展・継承

研修員制度の確立

複数年（5年）による
長期的な事業計画と明確なビジョン



H28

市内小中各1校を実証校として
一人1台体制先行実施

「課題の洗い出し」

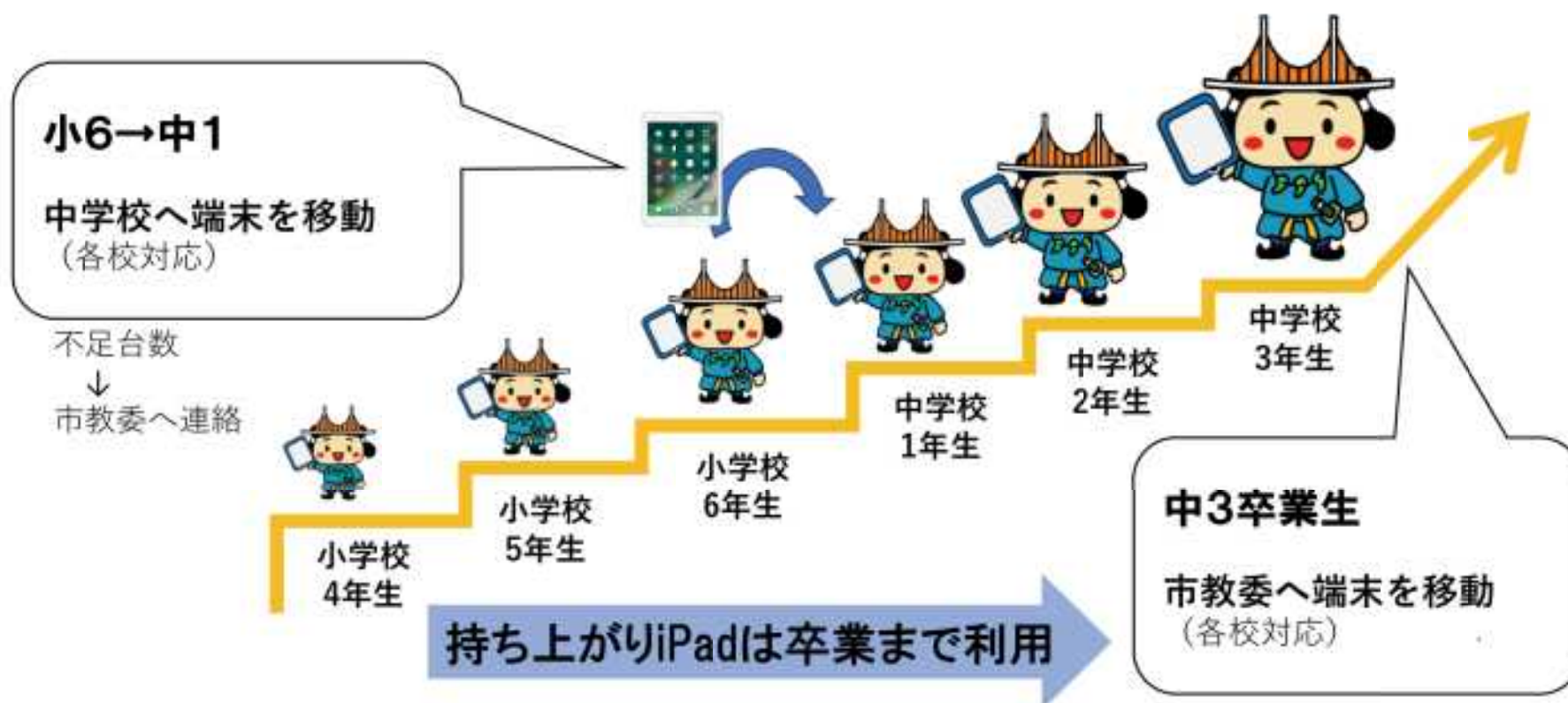
H29

小学校一人1台体制スタート

H30

中学校一人1台体制スタート

先生から子どもに



「研修員制度」

教員による教員同士の
主体的な自主運営研修を基本として

年間50回以上の教員研修（H28～H30）

5年間で全ての教員に研修を

先導的實踐部会

iTunesU部会

実証校

一宮小
一宮中

3 部会 H27/28/29 研修員

小学校授業実践部会

津名A

北一A

東岩B

津名B

北一B

東岩A

中学校教科専門部会

理数

実技A

国語

英語

実技B

社会

特別支援部会

肢体不自
由 病弱・難聴

知的

自閉・情緒

H24/25/26 指導員・研修員

少人数編成による研修スタイル



卒業しても「講師」として



新研修員への導入研修



ALTにもタブレット研修を





管理運用について

MDM (Jamf) 導入による“ICT支援員なしモデル”



端末の学校間移動に伴う変更作業がスムーズに

MDM (JamfPRO)



導入設定



アプリ配信



端末情報管理



管理制限



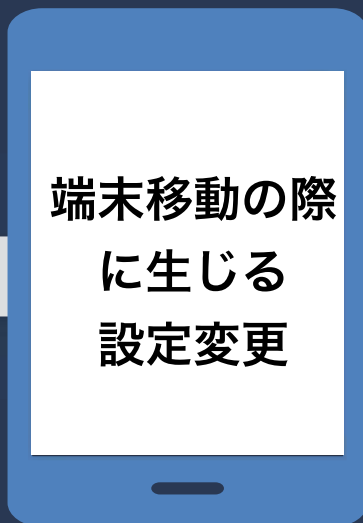
構成プロファイル

〇〇〇アプリ
×××アプリ
A校プロフィール



A小学校の設定

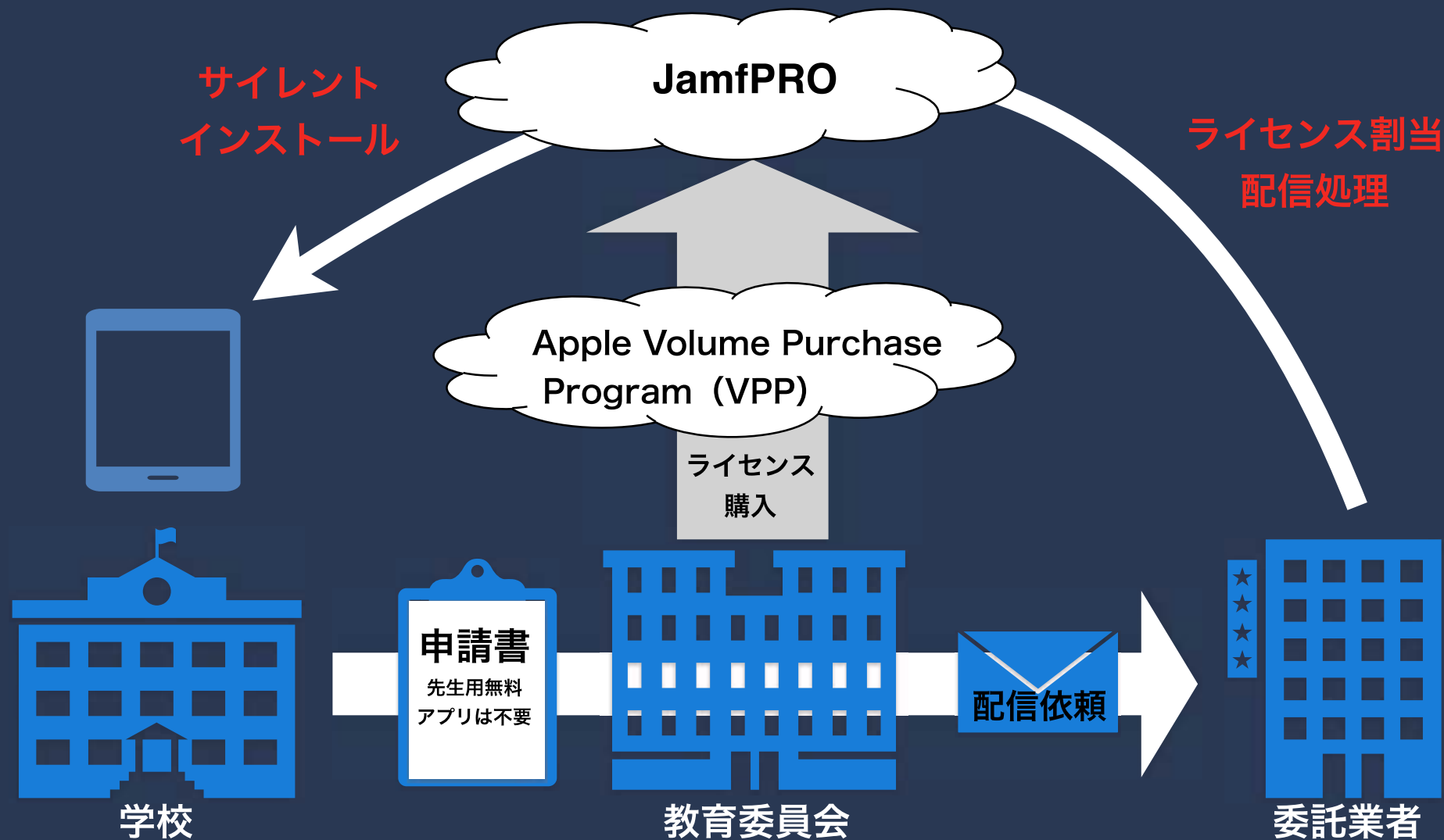
端末移動の際
に生じる
設定変更



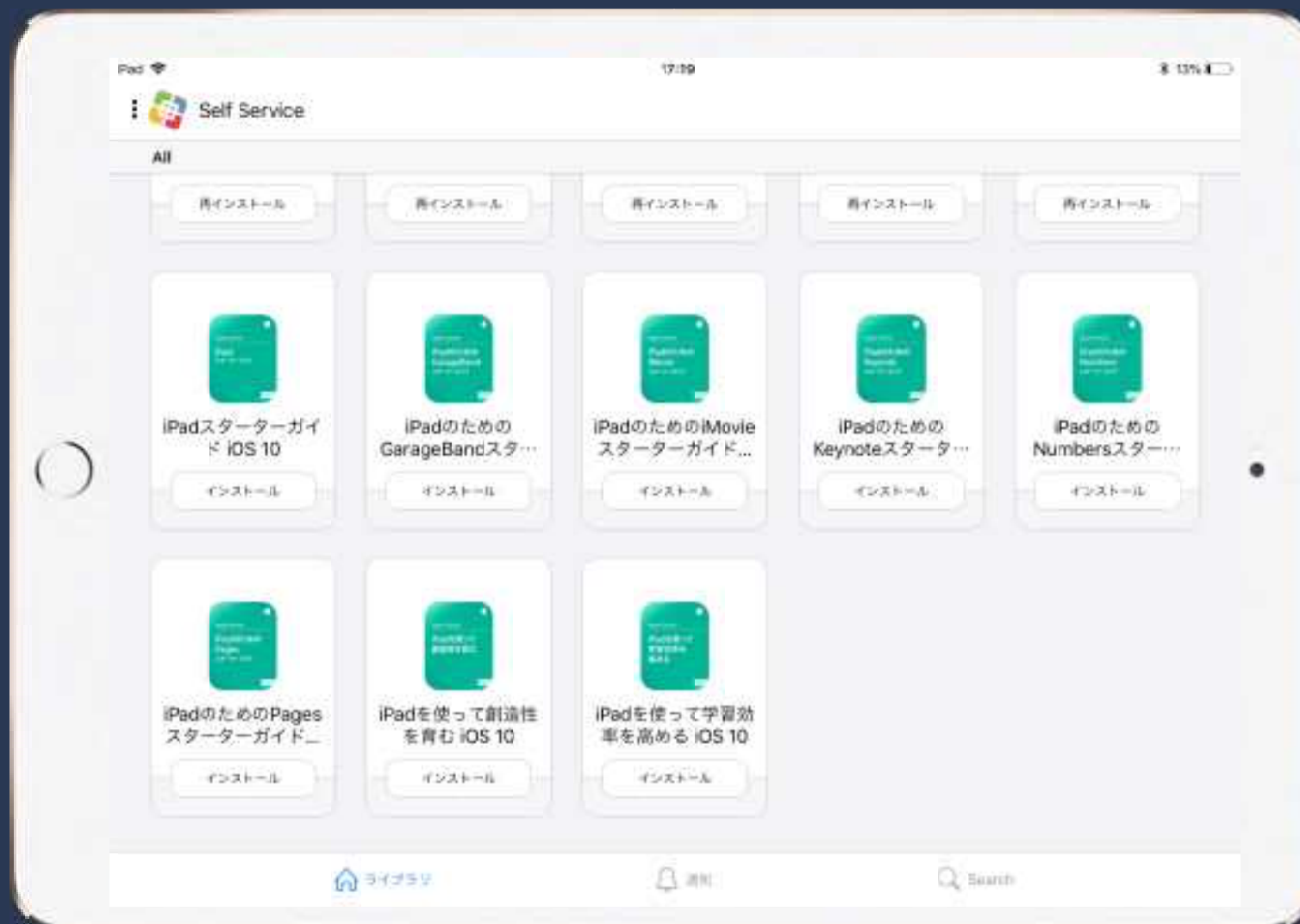
B中学校の設定

△△△アプリ
□□□アプリ
B校プロフィール

アプリ配信フロー



受信端末側のアプリ管理



淡路市にとってJamfとは...

先生のチャレンジにスピード感を与え
教育現場のストレスを軽減してくれる



子供たちの学びはどう変わったのか

小学校 体育



フォームを動画撮影し瞬時に確認することにより視覚的に捉えることができ
客観的な自己分析や友だちへのアドバイスが出来るようになる

感想① 自分自身の課題がより具体的に発見出来ている

10月5日(水) 走り高跳び

名前 ()

めあて **自分の課題を見つけ、より高く跳べるように練習しよう。**

感想

「とくになし」といっていたけど、よく見たら
さいこの3歩のリズムがおそかったから
さいこの3歩のリズムに気をつけてとぶよ
うにしたい。

感想② 自ら発見した課題に対してどのような プロセスで解決したのかが書かれている

10月5日（水）走り高跳び

名前（ ）

めあて **自分の課題を見つけ、より高く跳べるように練習しよう。**

感想

ふみきりや足のふり上げがあまりできていなかったから
ケンステップを置いたり足を上げたりして直していく
練習をした。あとちょっとかとおかたから練習
をして直していった。

小学校
体育

各自が自分の課題に応じた練習方法を選択



踏切の練習



上に飛ぶ練習



着地の練習

話し合いで終わらせない仕掛け

小学校
体育



PDCAを繰り返し、再チャレンジ

小学校
体育



遅延再生アプリ
を活用した
フォームの確認

小学校 体育

課題解決のための練習方法をキーノートで提示



- 助走、踏み切り、空中動作、着地のポイント
- 手本の動画
- 課題解決のための練習方法

小学校
体育



1周ごとのラップタイムを
ペアで**計測**しあう。

小学校
体育

自分のラップタイムをNumbersに入力

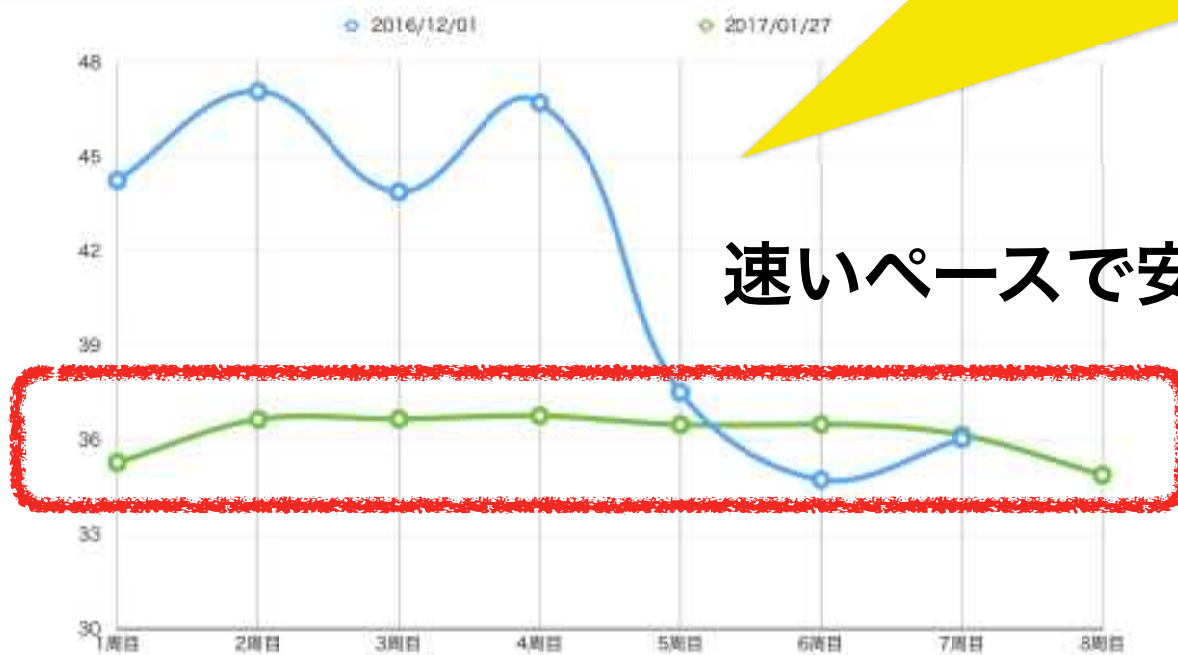


小学校
体育

例-具距離走の記録のコピー

	1周目	2周目	3周目	4周目	5周目	6周目	7周目	8周目	合計
2016/12/01	44.25	47.08	43.89	46.71	37.52	34.74	36.04		
2017/01/27	35.29	36.66	36.67	36.77	36.49	36.50	36.16		34.89

自分自身の
成長の見える化



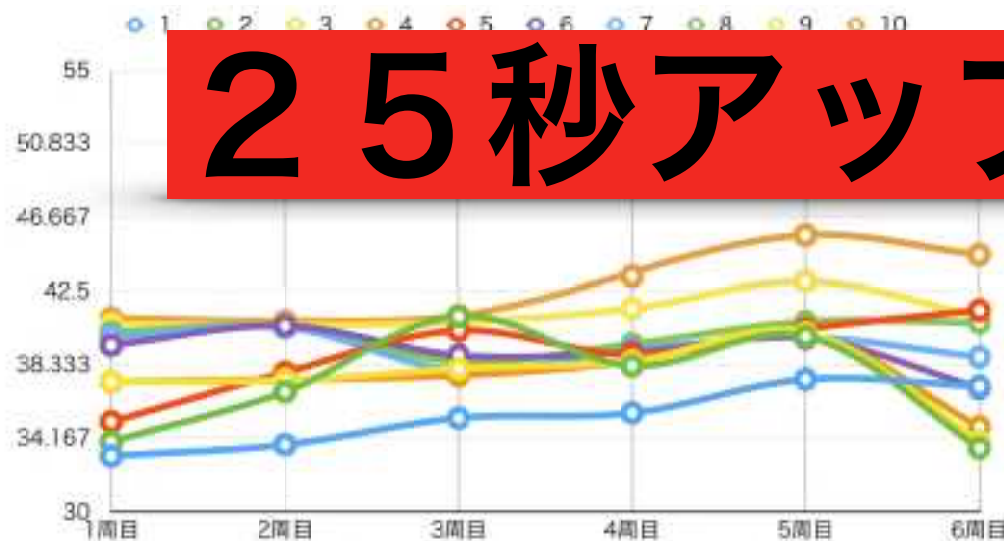
速いペースで安定

小学校
体育

1000mの記録名前抜き

名前	1周目	2周目	3周目	4周目	5周目	6周目	合計
1		33.15	33.79	35.30	35.59	37.50	37.10 3分32秒
2		33.96	36.79	41.08	38.26	39.93	33.60 3分43秒
3		37.35	37.43	38.09	38.53	40.13	34.00 3分45秒
4		37.36	37.46	37.30	38.50	40.00	34.00 3分46秒
5		37.36	37.46	37.30	38.50	40.00	34.00 3分46秒
6		37.36	37.46	37.30	38.50	40.00	34.00 3分46秒
7		37.36	37.46	37.30	38.50	40.00	34.00 3分46秒
8		37.36	37.46	37.30	38.50	40.00	34.00 3分46秒
9		37.36	37.46	37.30	38.50	40.00	34.00 3分46秒
10		40.96	40.80	41.09	43.33	45.63	44.53 4分16秒

4分53秒→4分28秒

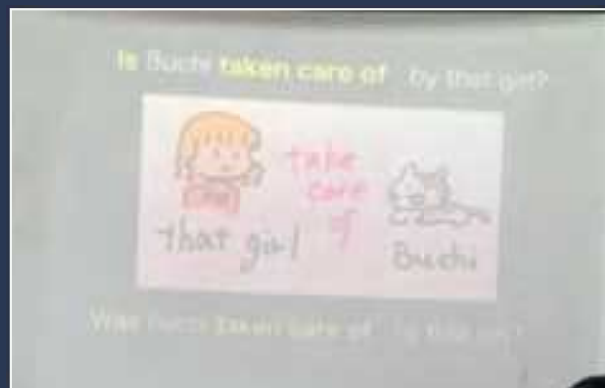


小学校
算数

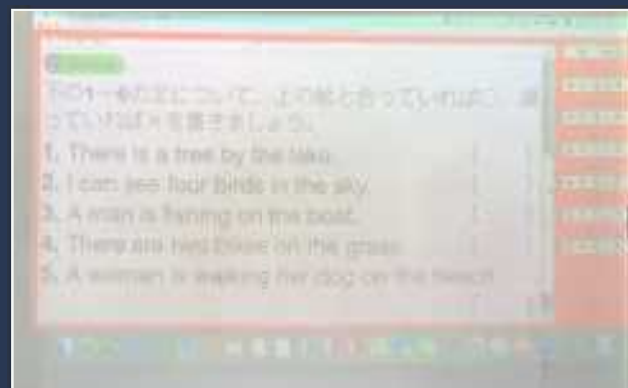


自分の考えと友達のことを共有・説明し合う活動

中学校 英語



自作ドリル



教科書表示



課題用資料



Speaking Check

中学校 英語

- ①本文、新出単語書き写す
- ②新出単語学習
(意味、綴り、発音練習、quizlet、デジタルテキストなど)
- ③教科書本文学習
(ノート整理、本文音読、内容理解、デジタルテキストなど)
- ④動画英文法視聴
- ⑤文法まとめ(ノート整理含む)
- ⑥ワーク
- ⑦教科書アクティビティ(主にListening, Speaking, Writing)
- ⑧eライブラリ
- ⑨課題

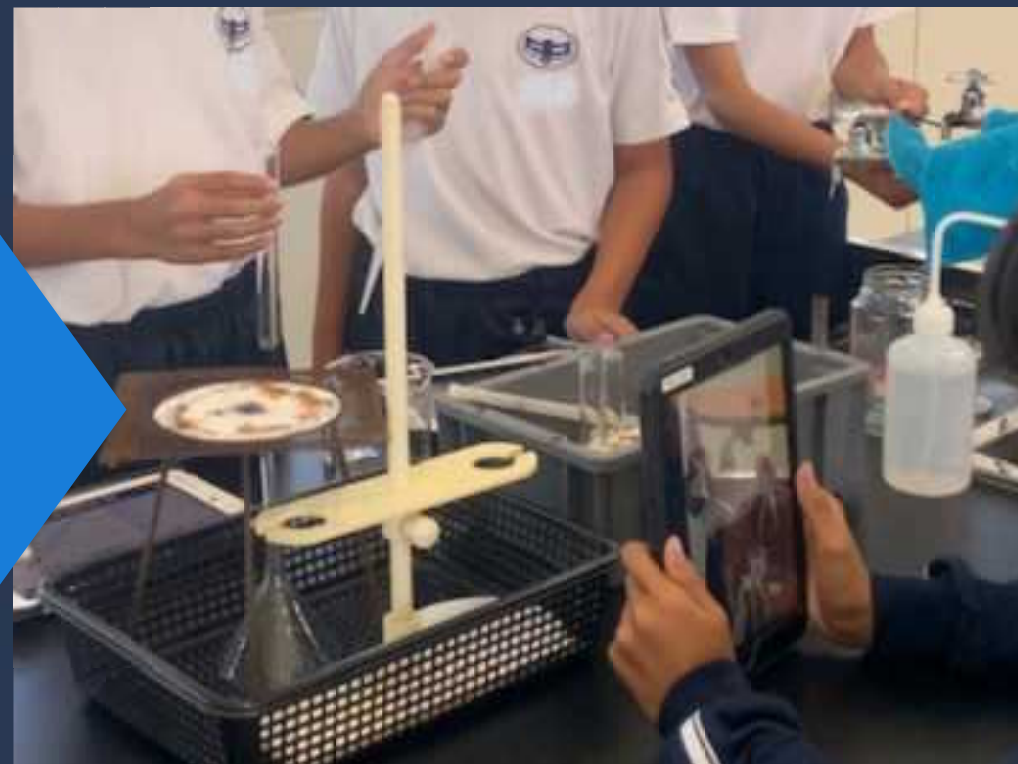


個別学習

中学校
理科



手元で手順を見ながら実験

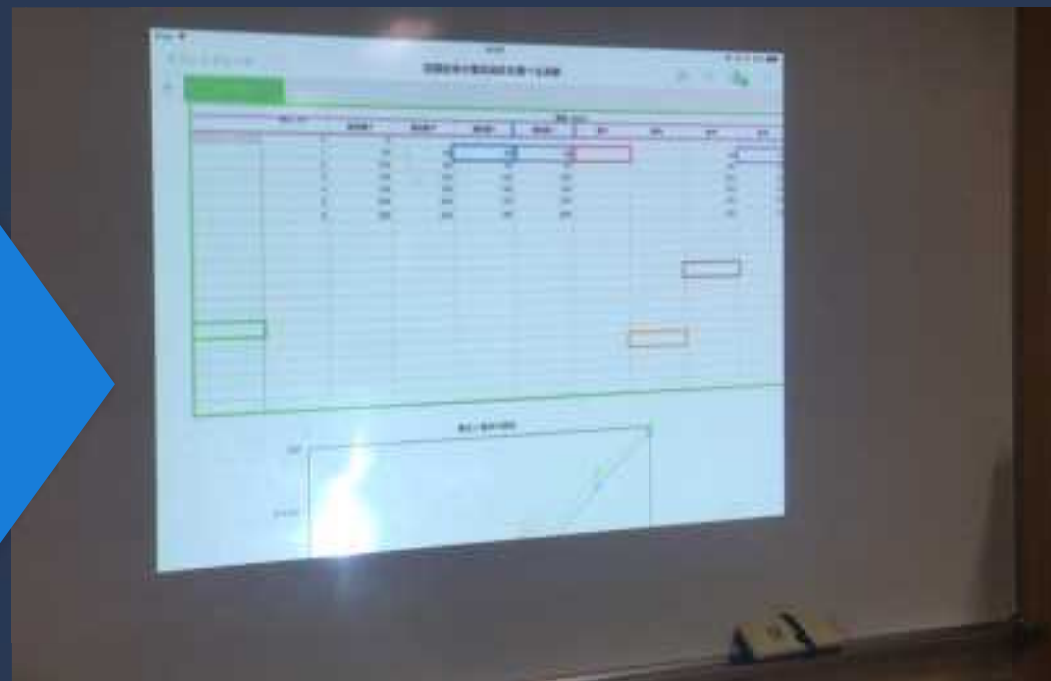


動画にまとめる

2年生 理科 水溶液

中学校
理科

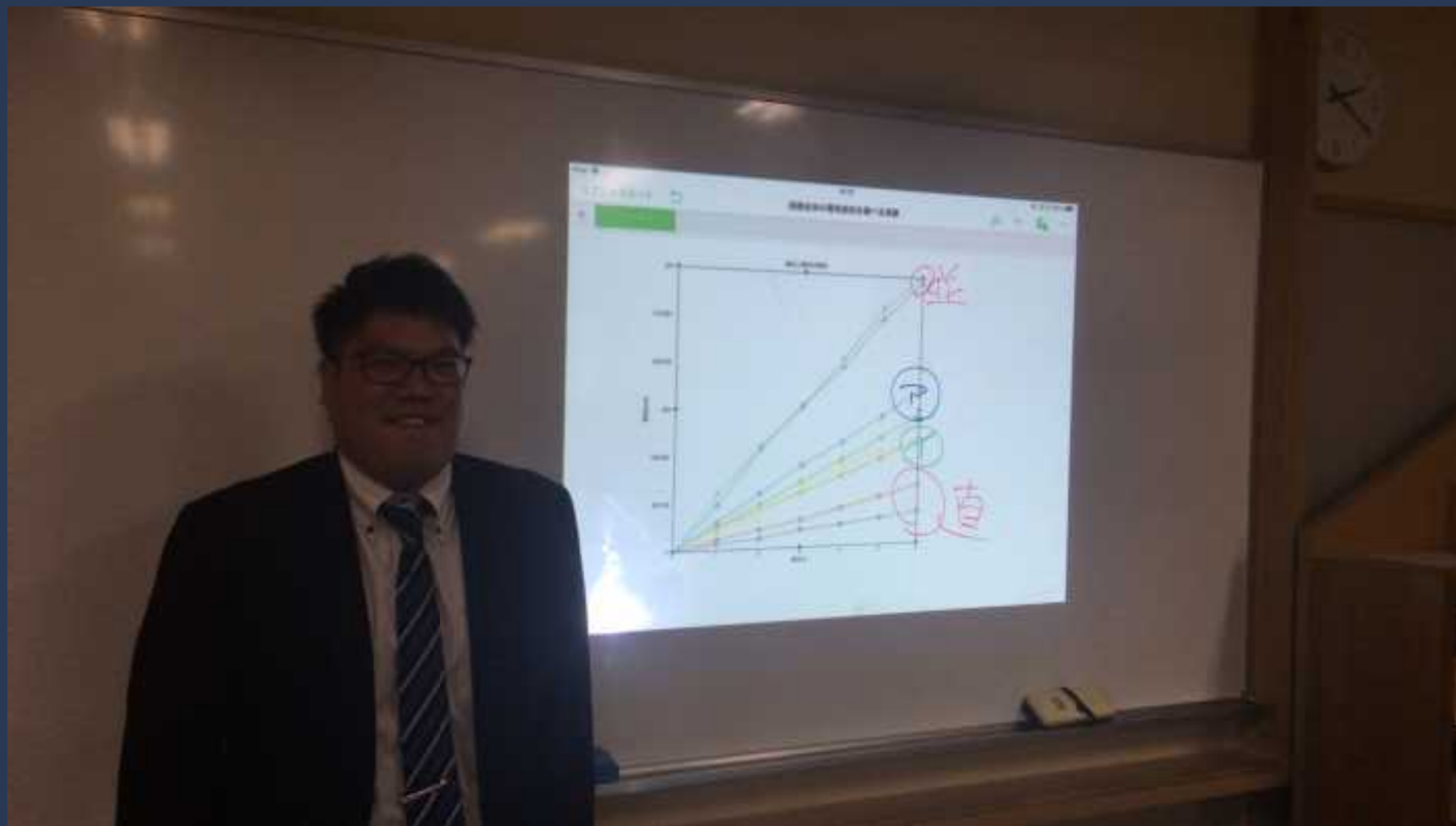
班ごとに入力した実験結果が共同編集機能により
iCloud上でリアルタイムで集計されていく



2年生 理科 電流の性質とその利用

中学校
理科

結果を共有し、実験と思考をつなぐ



中学校
国語

成果物は30秒のCM動画



iMovieで“おくのほそ道”の俳句にまつわる土地のCM作り

「めあて」と「振り返り」

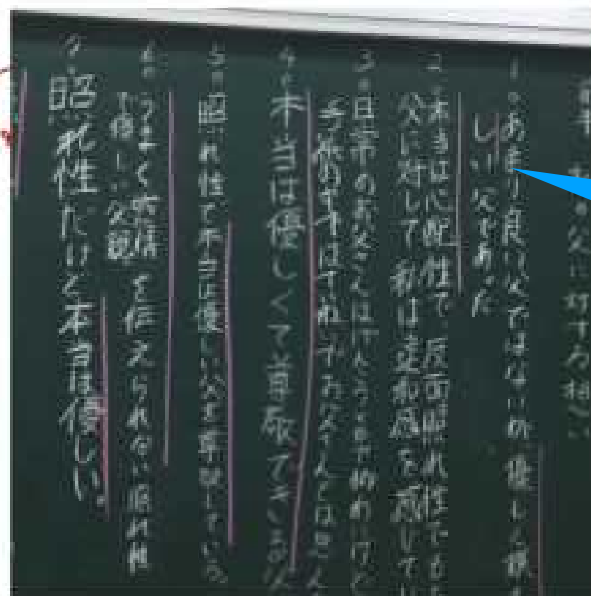
今日の目標(9月17日)

- 1 教科書から必要な情報を抜き出す。
- 2 私の、父に対する思いを考える。
- 3 班での話し合いで、班の人の意見を聞いて、自分の意見と比べる。

今日の振り返り動画

(30秒程度で勉強したこと・わからなかったこと・先生への質問)

今日の授業の
お手本動画です。
すばらしい!



課題設定は
選択式で授業開
始前、開始時に毎
時間実施

振り返りは動
画を作成させて、課
題設定とともに毎時
間提出

5分間で30秒程度の動画作成



前半

私の父に対する相性

1。あまり良い父ではないが、優しく頼
しい父であった。

2。本当は心配性で、反面照れ性でもち
父に対して私は違和感を感じてい

3。日常のお父さんはげんごうと前であわいけど
手紙の中からはねいでお父さんとは思え

4。本当は優しくて尊敬でている父

5。照れ性で本当は優しい父を尊敬している。

6。うまく感情を伝えられない照れ性
で優しい父親。

7。照れ性だけど本当は優しい。

第 1 次 10 分

第 2 次 10 分

第 3 次

第 4 次

$$\frac{1}{10} = \frac{1}{10} \times \frac{1}{10} = \frac{1}{100}$$

$$\frac{1}{10} = \frac{1}{10} \times \frac{1}{10} = \frac{1}{100}$$

第 5 次 10 分

$$\frac{1}{10} = \frac{1}{10} \times \frac{1}{10} = \frac{1}{100}$$

第 6 次 10 分

$$\frac{1}{10} = \frac{1}{10} \times \frac{1}{10} = \frac{1}{100}$$

第 7 次 10 分

$$\frac{1}{10} = \frac{1}{10} \times \frac{1}{10} = \frac{1}{100}$$

第 8 次 10 分

第 9 次

第 10 次

第 11 次

第 12 次

課題

口の形が違うのでそこを気をつける。



詩集

詩集

課題

集の佳が横長になる癖があるのでそこを直していきたいです。

詩の寺が言より小さくなる癖もあるのでそこも直していきたいです。

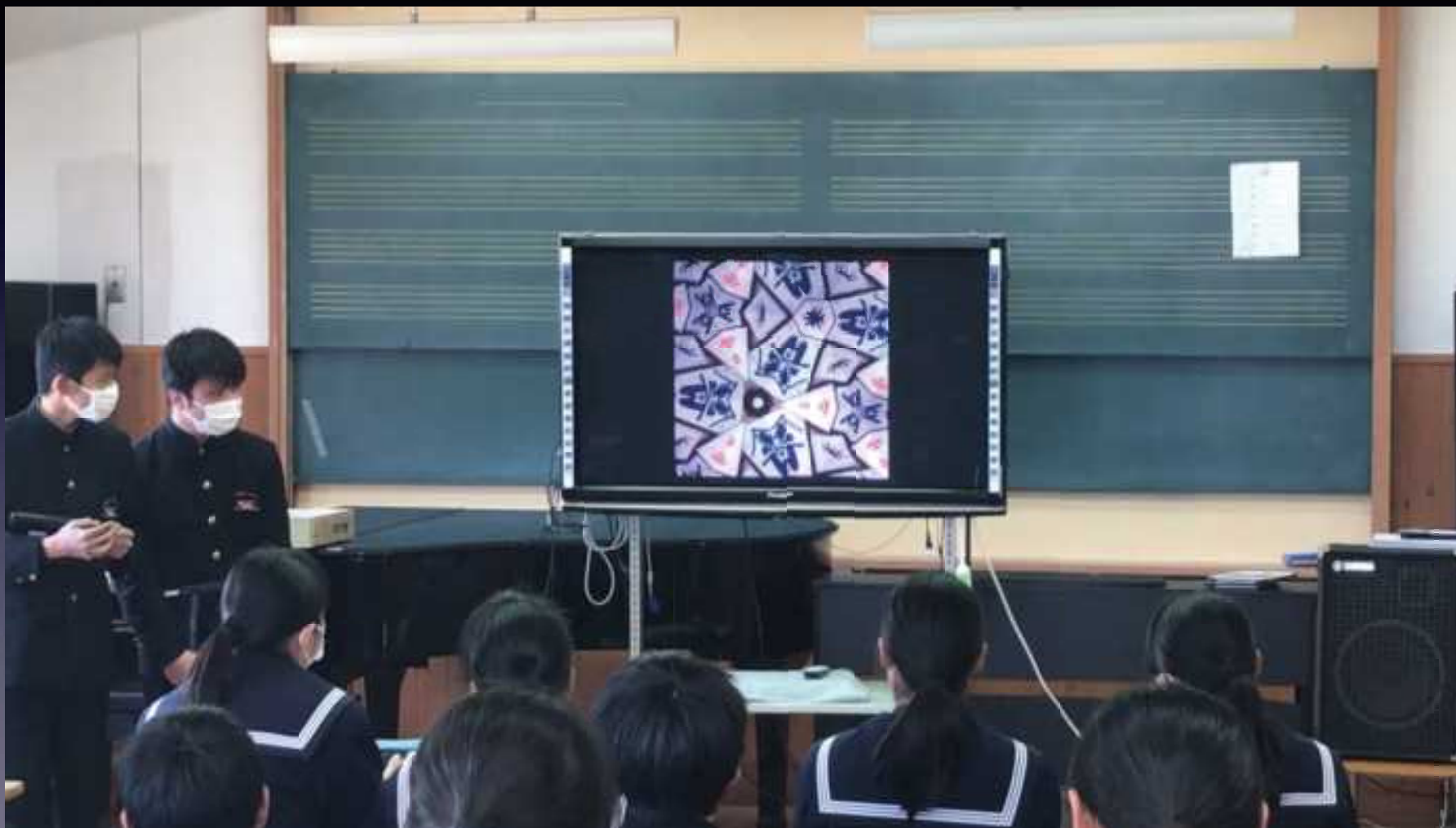
本時の作品
から導き出した
次時の課題

本時の課題

本時の作品

中学校
美術・音楽

美術と音楽の表現の可能性を広げる



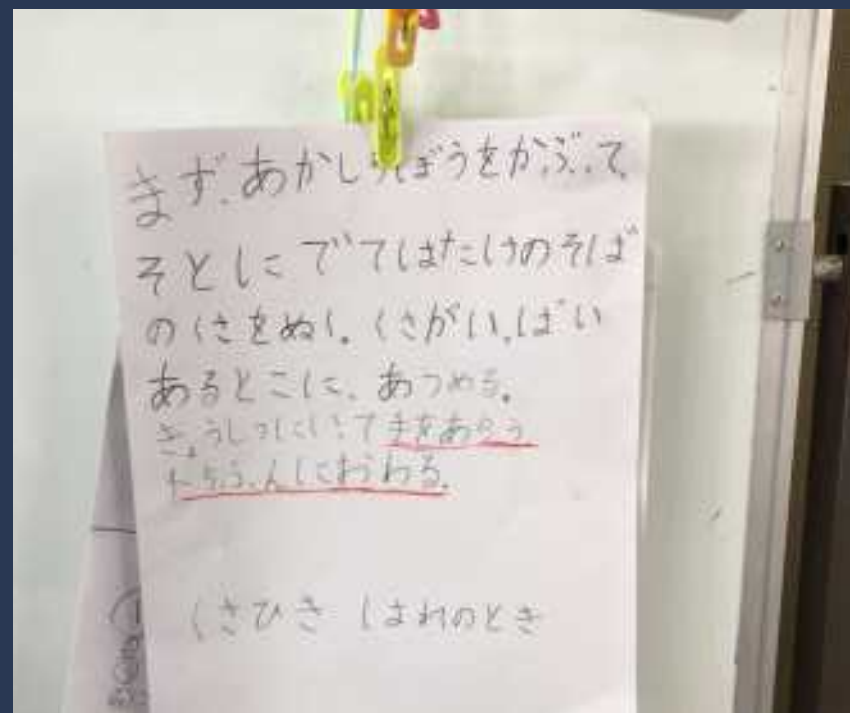
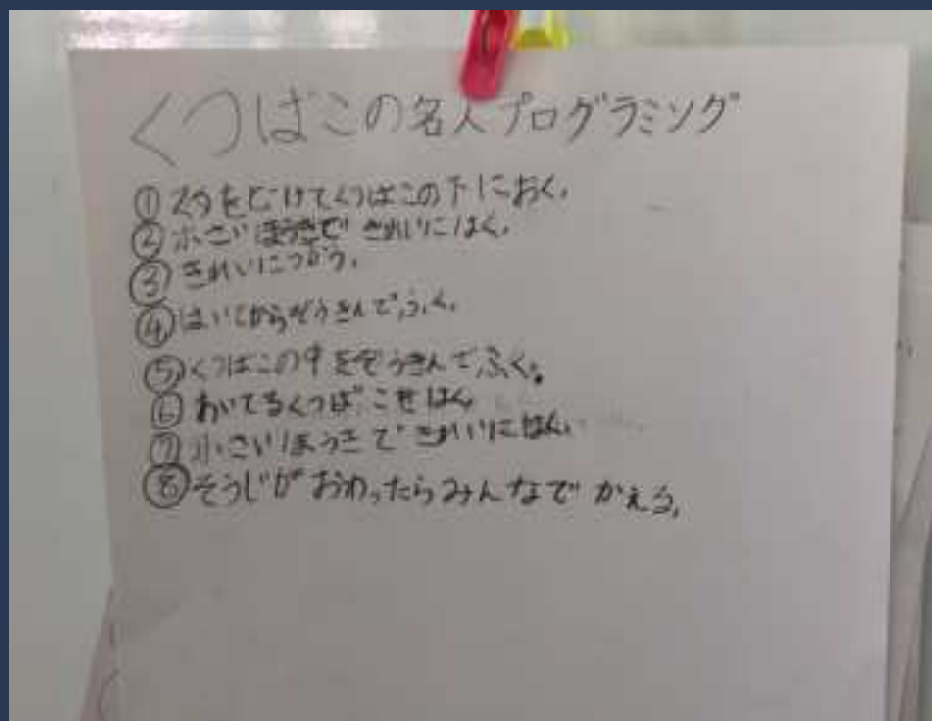
小学校
国語・図工

“創造思考型”プログラミングで命を吹き込む



1年生 国語、図工『てんとうむしが動く絵本をつくろう』

アンプラグドでプログラミング的思考を身につける



『手順書作り』 ← プログラミング的思考そのもの

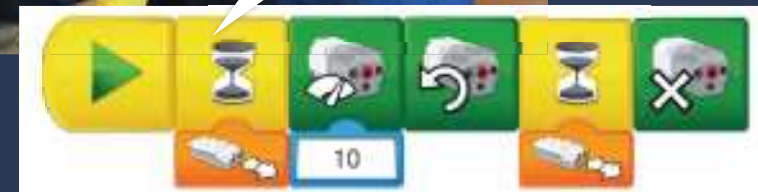
小学校
総合

“課題解決型”プログラミングで ゴールを目指せ！



条件分岐

4年生 総合的な学習の時間 『車を制御して走らせよう』



小学校
総合

現実世界に存在する課題に対して創造的なアイデアを！



6年生 理科 発電と電気の利用

『効率的なエネルギー利用を実現するためのプログラミングを行う』

小学校
外国語活動

“世界とつながる教室”の実現

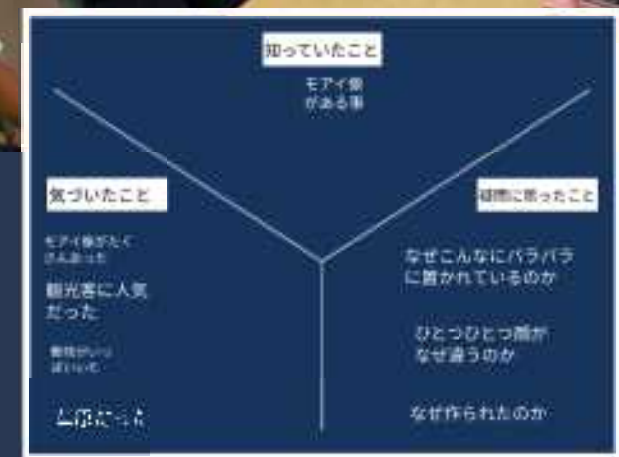


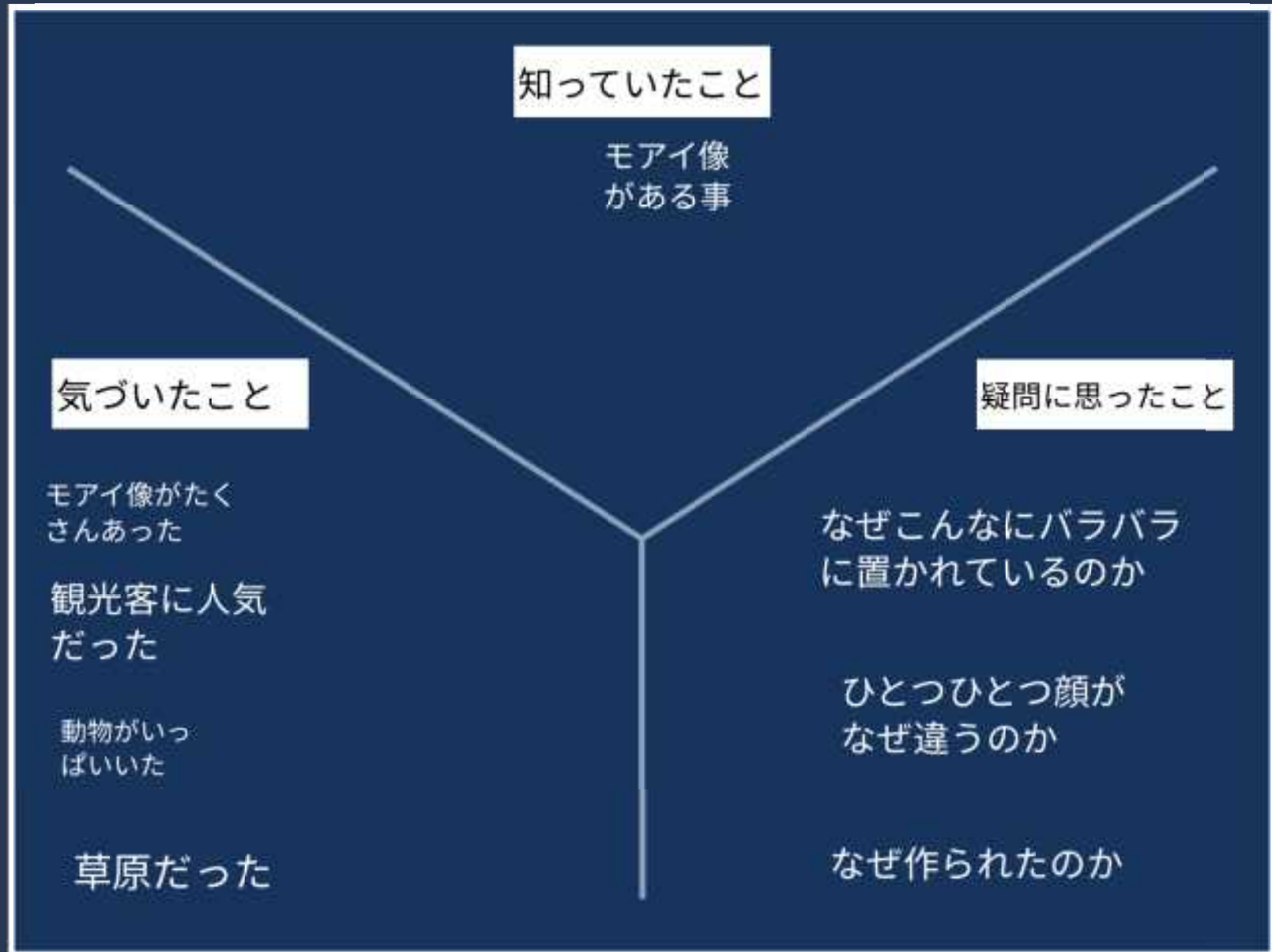
インド小学校との遠隔授業

中学校
国語・理科



中学校
国語・理科







淡路市のこれから

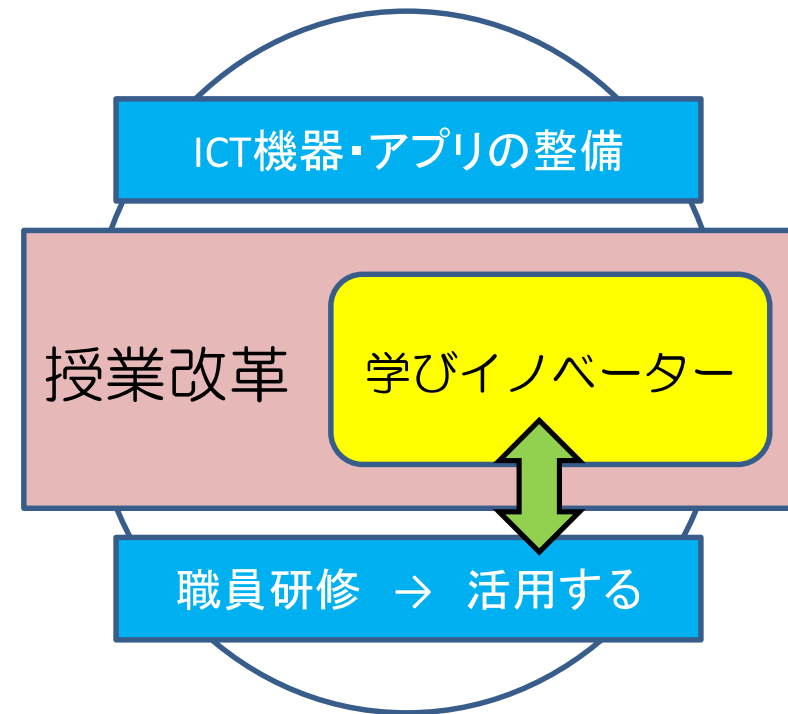
H24～H30
「フロンティアプロジェクト」
～「タブレット活用教育推進事業」

タブレット端末を使った授業
(Teach)

発展

R1～
「学びイノベーション事業」

学び方のイノベーションへの活用
(主体的・対話的で深い学び)



学びイノベーター

事業推進のコアとなる先導的教員
☆小中各4名☆

研究

ICTを活用した

- 「主体的・対話的で深い学び」
- プログラミング教育
- 遠隔授業
- ルーブリック（評価基準） 等

伝達

- 公開授業
- 教育カンファレンスでの実践発表 等

産官学プロジェクト

委託業者

- 環境整備
サポート
- 研究、研修
サポート
- 情報提供

教育委員会

- 授業改革への
ビジョンの明示
- 環境整備
- 人材育成
- 情報の収集と発信
- 実践成果の検証

専門家

- 研究、研修
サポート
- 実践成果の検証
サポート

今後の課題

- 家庭へのタブレット持ち帰り
- 教職員への研修
- 個別最適化への対応
- プログラミング教育への対応
- 業務改善の視点での活用